

和歌山県道路メンテナンス会議で橋梁点検の研修を開催 ～新技術を活用した点検のデモを実施～

○和歌山県道路メンテナンス会議では、新技術の活用による効率的な点検・診断を支援するため、自治体の道路管理者を対象とした点検支援技術のデモを実施します。
○今回活用する新技術は「ドローン・AIを活用した橋梁点検・調書作成支援技術」と「360度カメラ撮影による定期点検支援技術」の2技術です。

- 開催日時：令和7年11月27日（木）14：00～15：30
（天候により中止する場合があります）
- 開催場所：しんたかせがわばし わかやまけんにしむ るぐんしらはまちょうつづらふち新高瀬川橋（和歌山県西牟婁郡白浜町十九瀬）【別添1】
- 参加者：和歌山県内自治体職員等、近畿地方整備局職員
なお、当日は開催場所の自治体である白浜町長への囲み取材の場を用意しています。
- 内容：新技術を活用した橋梁点検のデモンストレーションを行い、道路管理者の技術力向上を図り、新技術の活用を推進します。【別添2、3】
- その他：取材を希望される報道関係の方は、【別添4】の取材申込書に記入していただき、11月25日（火）正午までに電子メールまたはFAXにてお申込みください。

<取扱い>

<配布場所>

近畿建設記者クラブ	大手前記者クラブ
和歌山県政記者クラブ	田辺記者クラブ
和歌山県政放送記者クラブ	新宮中央記者会
和歌山県地方新聞記者クラブ	新宮記者クラブ

<問合せ先>

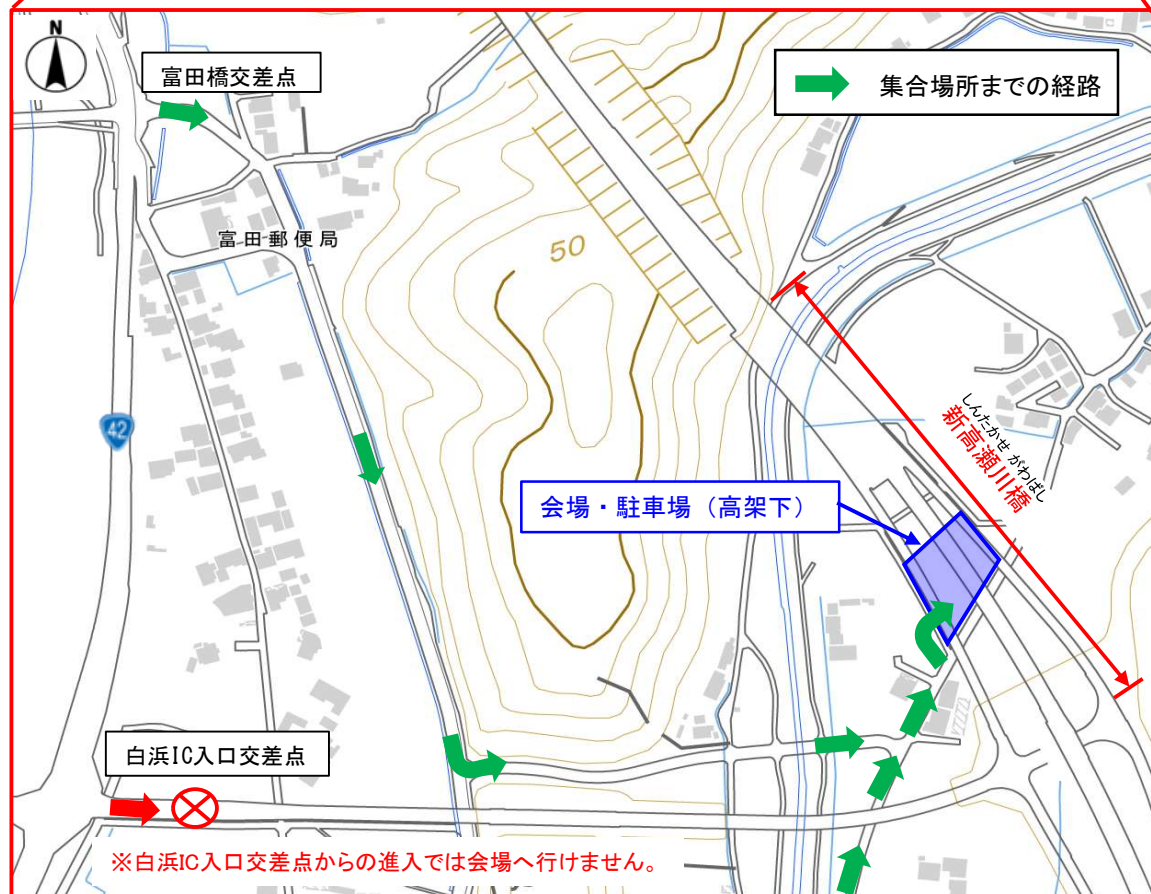
①開催案内に関する問合せ先

国土交通省 近畿地方整備局	紀南河川国道事務所
	副所長（道路） 中村 恭介（なかむら きょうすけ）
	道路管理課長 浦尾 賢一（うらお けんいち）
	電話（0739）22-4564（代表）

②新技術に関する問合せ先

国土交通省 近畿地方整備局	近畿道路メンテナンスセンター
	技術課長 石田 茂和（いしだ しげかず）
	電話（072）800-6222（代表）

位置図



※駐車位置については、会場内の係員の誘導に従ってください。

■参加者

- ・和歌山県内自治体職員等
- ・近畿地方整備局職員

■使用する新技術

- ①ドローン・A I を活用した橋梁点検・調書作成支援技術
- ②360度カメラ撮影による定期点検支援技術

■スケジュール

14：00～ 開会、挨拶

14：03～ 主催者による新技術のデモンストレーション

※デモンストレーション終了後、白浜町長への囲み取材の場を用意します。

14：20～ 自治体職員による新技術体験

15：00～ 意見交換

15：30 閉会

※プレスによる取材は15：30までとします。

技術①：ドローン・AI を活用した橋梁点検・調書作成支援技術

【技術概要】

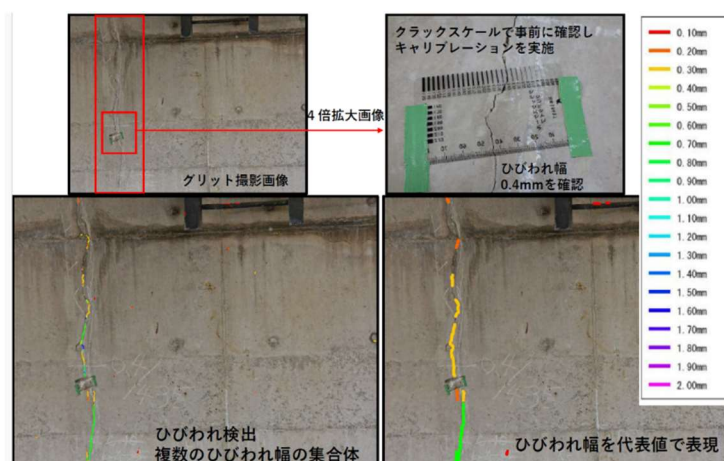
ドローンに搭載したカメラで対象部位をオルソ画像やグリッド画像で撮影して記録するほか、ひびわれを AI による画像解析で検出できる技術です。グリッド撮影は、広角・ズーム機能のあるカメラを利用して、全景とブロック分割した範囲毎の詳細を同時撮影できるため、ひびわれ等の変状位置・状況が客観的に把握できます。また、生成したひびわれ検知データから損傷図を出力することも可能です。

<ドローンによる撮影状況>



【使用機材：MATRICE 300 RTK】

<AI によるひびわれ検出結果>



技術②：360度カメラ撮影による定期点検支援技術

【技術概要】

全方位を撮影できる360度カメラで構造物を一括で撮影し、撮影データをシステム上にて自動で3次元の点群データに変換、かつ任意の位置での損傷を確認することができる技術です。また、点検調書の出力やオルソ画像から損傷図とCAD図の生成も可能です。

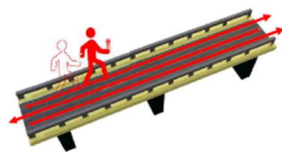
＜データ収集＞

360度カメラを用いた動画撮影手順

仮にこのような橋を想定した場合



360度カメラと作業状況



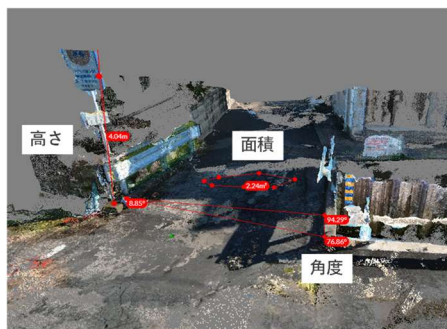
上面を往復して起点に戻る



下面も同様に数回往復して起点に戻る



＜自動点群作成・損傷確認＞



＜点検調書の作成例＞

9-1 沉井式(土E10) 調査写真				位置 番号		1-1		北向き		南向き		西向き		東向き	
写真番号 写真内容				照 像 名		照 像 機		撮影者		撮影日時		撮影場所		備考	
写真番号 1				位置番号 3-1		写真番号 2		位置番号 1-1		写真番号 3		位置番号 1-1		写真番号 4	
内容 掘削土 土質				位置番号 3-2		内容 掘削土 土質		位置番号 3-3		内容 掘削土 土質		位置番号 3-4		内容 掘削土 土質	
掘削土の採取 (掘削土の採取)				掘削土の採取 (掘削土の採取)		掘削土の採取 (掘削土の採取)		掘削土の採取 (掘削土の採取)		掘削土の採取 (掘削土の採取)		掘削土の採取 (掘削土の採取)		掘削土の採取 (掘削土の採取)	
															
写真番号 4				位置番号 3-1		写真番号 3		位置番号 3-1		写真番号 4		位置番号 3-1		写真番号 5	
内容 掘削土 土質				位置番号 3-2		内容 掘削土 土質		位置番号 3-3		内容 掘削土 土質		位置番号 3-4		内容 掘削土 土質	
掘削土の採取 (掘削土の採取)				掘削土の採取 (掘削土の採取)		掘削土の採取 (掘削土の採取)		掘削土の採取 (掘削土の採取)		掘削土の採取 (掘削土の採取)		掘削土の採取 (掘削土の採取)		掘削土の採取 (掘削土の採取)	
															

和歌山県道路メンテナンス会議橋梁点検の研修 取材申込書

11月25日（火）正午 締め切り

<電子メールによる申し込み>

送信先（メールアドレス）：kkk-otayori-kinan@mlit.go.jp

- ・件名に「和歌山県道路メンテナンス会議橋梁点検の研修」と記載してください。
- ・メール本文に①貴社名、②担当者の氏名（ふりがな）、③同行者の氏名（ふりがな）
④連絡先（電話番号）

<FAXによる申し込み>

下記のFAX申込書に記載のうえ、記載のFAX番号までご送信ください。

紀南河川国道事務所 道路管理課 維持修繕係 宛

FAX番号：0739-25-5518

貴社名	
(ふりがな)	氏 名
担当者氏名	所属部署名等
(ふりがな)	氏 名
同行者氏名	所属部署名等
連絡先	電話番号： () FAX番号： () E-mail :

- (1) 参加者全員の氏名を記入してください。
- (2) 取材の方は本人確認書類の携帯をお願いします。
- (3) 取材については各社1名（+撮影者1名）、車両は1台でお願いします。
駐車位置は会場内の係員の誘導に従ってください。
- (4) 取材時においては、会社名が記載された腕章の着用をお願いします。
- (5) FAX送信後は、受信確認のため、下記の【受信連絡先】までご連絡ください。
- (6) 雨天等により中止する場合は、当日の10時までに連絡します。
- (7) 当日は開始時刻の15分前（13時45分）までに受付をしていただきますようお願いいたします。

【受信連絡先】

国土交通省 近畿地方整備局 紀南河川国道事務所 道路管理課

TEL 0739-22-4815（道路管理課直通）